

標準的な施工手順と注意点

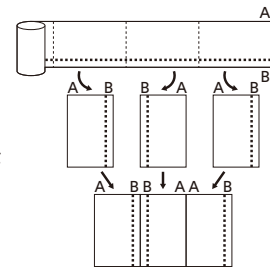
繋ぎ合わせ時の注意点

ガラスサイズがフィルム幅より広い場合は、フィルムの繋ぎ合わせ（スプライス）を行います。
繋ぎ合わせ（スプライス）施工は、事前に製品を確認の上行ってください。

- ① 施工後のほこりや水が目詰まりを起こしにくくするために、縦方向にしてください。
- ② 原則として、ガラス中央部にくるようにしてください。
- ③ 隙間は、以下のようにフィルムタイプ別に使い分けてください。但し、ガラスサイズが大きくガラス面に歪みがある等の場合は、推奨する隙間での施工が困難な場合がありますので、状況にあわせてご対応ください。

タイプ	隙間	備考
透明	隙間 0.5～1.0mm	隙間幅の確認の目安は、爪をスプライス部分に入れて上から下までなぞっていき、引っかからないようであれば、約0.5mmの隙間が空いています。
不透明	隙間 0.5mm 未満	0.5mm以上の隙間をとると、隙間から光が入ることで目立ちやすく、外観不良の原因になります。

- ④ 原則として同一ロールを使用してください。
- ⑤ 隣り合わせになるフィルムは同一エッジを合わせてください（テレコ貼り、右図参照）。
同一ロールでもAの部分とBの部分とは僅かな「色ムラ」「蒸着ムラ」がありますので、必ず、右図のように隣り合わせになるフィルムは同一エッジを合わせて施工してください。但し、3M™ ウィンドウフィルムの以下の製品は、同一エッジを合わせないでください（AとBが隣り合うように施工）。
フロスト マット SH2FRMAX、フロスト シュクレ SH2FRSCX、フロスト ミルキー SH2FRMLX、フロスト ブルー SH2FRBLX、フロスト グレー SH2FRGRX、フロスト ブロンズ SH2FRBRX、フロスト シルバー1 SH2FRSI-1X、フロスト シルバー18 SH2FRSI-18X、フロスト シルバー35 SH2FRSI-35X、フロスト ブラック SH2FRBKX、型板・すりガラス用フィルム マット DC001
3M™ ファサラ™ ガラスフィルムも、ダイクロイックシリーズ以外は原則として同一エッジを合わせないでください。



組み合わせ時の注意点

ルーチェ SH2FGLU と同色製品を組み合わせる場合

ルナ シックス SH2PCL6、ルナ ナイン SH2PCL9、ダイヤモンド SH2FGDM、イルミナ SH2FGIM、ベネシャン SH2FGVN、イルミナ PR SH2FGIM-PR、シャティール SH2FGST、フィーネ SH2FGFN、アルパ SH2FGAP、ビスタ SH2FGVI、雫 シズク SH2FGSK
シャティール、アルパは、濃度100%部分がルーチェと同色です。

ルーチェと上記の製品は同色ですが、製品ロットにより色調等の外観に若干の差異が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、イルミナ シルキーシリーズ、イルミナ シームレスシリーズは、ルーチェと同色ではありませんので、イルミナ等との組み合わせ利用はお勧めしません。

グラッセ SH2MAGL と同色製品を組み合わせる場合

イルミナ グラッセ SH2FGIM-G、ラティス グラッセ SH2FGLT-G、スラット グラッセ SH2FGSL-G

グラッセと上記の製品は同色ですが、製品ロットにより色調等の外観に若干の差異が生じる場合があります。

エアリナ SH2FGAR とシエロ SH2FGCE、イルミナ リフレクト SH2SIIM とシルバー1 RE1SIAR、

サブリナ SH2FGSB とマーレ SH2FGMR、イルミナ ブラック SH2BKIM とオパーク ブラック SH2BKOP を組み合わせる場合

それぞれ、同様のパターンと同色ですが、製品ロットにより外観に若干の差異が生じる場合があります。

イルミナリフレクトの端部は印刷濃度約95%、シルバー1は印刷濃度100%であるため、両製品をつないだ際に繋ぎ部が目立ちやすい傾向があります。

熱線反射ガラスへの施工時の注意点

高性能熱線反射ガラスの反射膜面へのフィルムの施工は、フィルムの貼り剥がしの際に反射膜が剥離する可能性があります。施工を検討する場合はご注意ください。